

# 乗艦実習 史料館研修

令和5年10月18日



令和5年10月18日、護衛艦みくま乗艦実習と海上自衛隊佐世保資料館「セイルタワー」研修に行きました。



護衛艦みくまは従来の護衛艦とは一線を画したコンパクトかつ多機能な最新型護衛艦です。様々な任務に対応できるように護衛艦ながら機雷対処能力も備え、近年の少子高齢化による省人化ニーズも踏まえ、従来の半分程度の乗員数で運用できるように設計されています。

初めに飛行甲板で艦の全般的な説明があり、その後、少人数のグループに分かれて艦内を回り、各区画ごとの説明を受けました。海士長以上しか勤務できないとのことで、修業後すぐには乗員にはなれませんが、将来を見据えた職種選択の参考になったと思います。



海上自衛隊佐世保史料館は日本帝国海軍から海上自衛隊に至る現在までの資料が展示されており、その変遷を知ることができる施設です。旧海軍時代に海軍士官の宿泊、福利厚生施設として利用していた海軍水交社の建物を一部再利用した建物で屋上部の構造物が船の帆にも見えることから「セイルタワー」の愛称で親しまれています。





施設は7階建てで、上から下に行くにしたがって過去～現在という流れの展示になっています。触って体験もできるようなにもなっているので、学生も楽しみながら旧海軍からの歴史を学ぶことができたようです。一般の方も無料で入れますので、佐世保にお越しの際はぜひご来場ください。